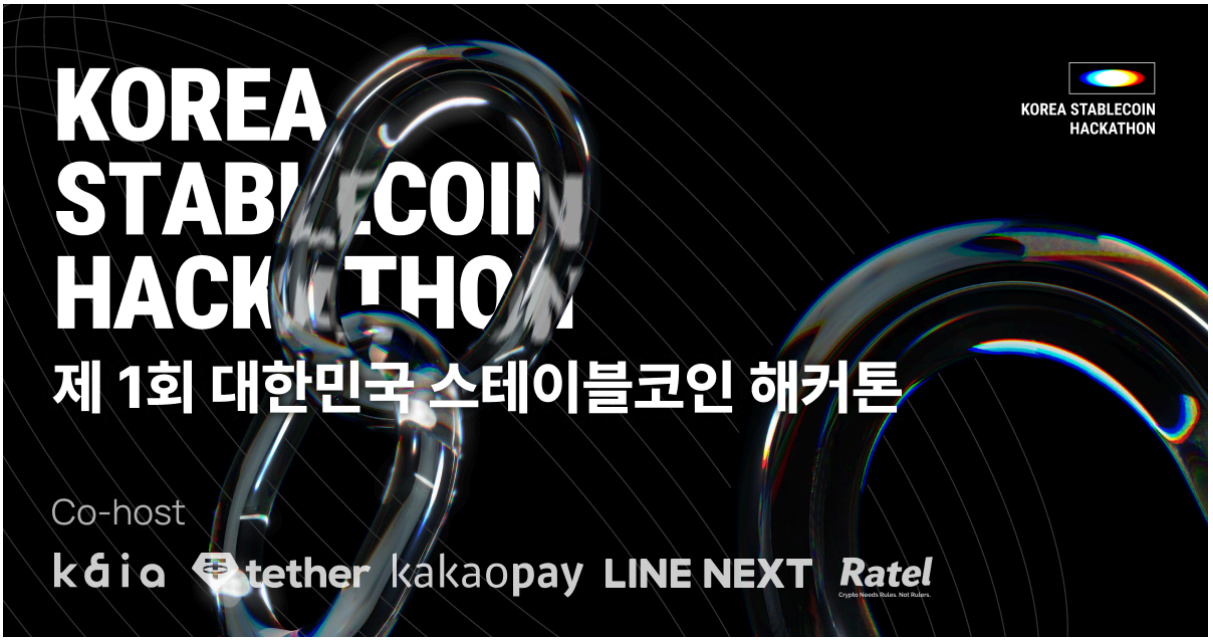
プレスリリース

KAIA、Tether、Kakao Pay、LINE Nextが共同で「韓国ステーブルコインハッカソン」を開催予定

韓国発・KAIA主催：ウォン建てステーブルコイン アイデアソン＆KAIA USDTハッカソン、総額1億ウォンの賞金、LINEミニDApp公開、KAIA Wave VC連合・SimSan Venturesの投資検討など、多彩なチャンスを提供——優秀プロジェクトの先取りへ



Kaia DLT Foundation（カイアDLT財団、以下「KAIA」）は、2025年8月1日より、Tether（テザー）、Kakao Pay（カカオペイ）、LINE NEXT（ラインネクスト）と共同で、「第1回 韓国ステーブルコイン・ハッカソン」を開催することをお知らせいたします。「韓国ステーブルコイン産業、イノベーションを超えてG2へ」を副題に掲げた本ハッカソンは、近年の法案提出により活発化している韓国国内のWeb3フィンテック分野において、ステーブルコインを活用した革新的なビジネスモデルおよび優れた実用事例の発掘を目的としております。韓国では現在、ステーブルコイン関連の制度整備が進んでおり、本イベントは業界のさらなる発展とグローバル競争力強化に寄与することが期待されております。

総額1億ウォン（約1,100万円相当）の賞金が提供される本ハッカソンは、「ウォン建てステーブルコイン・アイデアソン（Ideathon）」と「Kaia基盤のUSDTハッカソン（Hackathon）」の2部門で構成されております。KAIAは、国内外のフィンテックおよびWeb3企業との連携のもと、LINEメッセンジャー内でのMini Dapp（ミニディアップ）公開をはじめとする取り組みを通じて、優秀なプロジェクトがKaiaエコシステム内で自身のビジネスモデルを実現できる機会を提供してまいります。

また、KAIAが展開する開発者支援プログラム「Kaia　Wave」や、グローバルVCであるShinsan　Venturesなどによる投資検討の支援も予定しており、参加チームのさらなる成長を後押しします。

本ハッカソンには、国内外の開発者、企画担当者、デザイナー、大学生・大学院生、起業志望者、既存起業家、スタートアップなど、ステーブルコインおよびWeb3に関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。2025年8月から9月初旬にかけて開催される本イベントでは、「金融包摂の促進」「決済システムの革新」「RWA（現実資産）のトークン化との連携」「DAO運営の効率化」「クロスボーダー送金」「デジタルコンテンツ取引」などの観点から、優秀なプロジェクトを選定する予定です。詳細は、Kaiaブロックチェーンの公式ウェブサイト（https://kaia.io）および公式ソーシャルメディア（https://x.com/KaiaChain_KR）にて順次公開いたします。

なお、分散型ソーシャルプラットフォーム「RATEL（ラテル）」を運営するWeb3企業Biyard（バイヤード）は、本ハッカソンの共同主催者として、産学官の連携を通じて韓国Web3産業の発展に向けた多様な関係者の参画を呼びかけています。

9月3日に開催される最終デモデーおよび表彰式では、民間主導のステーブルコインによる国内エコシステム構築を含む「デジタル資産基本法」の初提出者であるミン・ビョンドク議員が祝辞を述べ、健全かつ堅固なエコシステムの形成に向けた連携の重要性を強調する予定です。

Kakao Pay 代表取締役 シン・ウォングン氏のコメント
「韓国の国民の生活金融プラットフォームとして、グローバルな注目を集めるステーブルコインに関するインサイトを審査する場に参加できることを大変嬉しく思います。ハッカソンから生まれるアイデアが政策環境に対応しながら、ユーザーにとってより革新的なサービスへとつながることを期待しております。」

LINE NEXT 代表取締役 コ・ヨンス氏のコメント
「今回のハッカソンは、ステーブルコインの本格的な普及に向けた出発点になると考えております。Kakao　PayおよびKaiaと共に、革新的なビジネスアイデアを発掘・支援し、Web3サービスおよびステーブルコインの真のマスアダプションを加速させてまいります。」

KAIA DLT財団のソ・サンミン議長のコメント
「KAIAのガバナンスメンバーであるカカオペイおよびLINE　NEXT、そして強力なパートナーであるテザーが今回のハッカソンに参加してくださったことを大変嬉しく思います。国内のステーブルコイン産業が安定的に立ち上がるよう尽力してくださっている関係者の方々のご支援も非常に心強く感じております。今回のイベントを通じ

て、デジタル資産フィンテック産業が新たな成長エンジンとして認識されることを期待するとともに、すべての人に価値をもたらすWeb3ビジネスモデルを創出してまいります。」

###

Kakao Pay（カカオペイ）紹介

Kakao　Pay（カカオペイ）は、2017年4月に設立されたKakaoのテックフィン（TechFin）専門子会社であり、Kakao　TalkおよびKakao Payアプリを通じて、便利で安全なライフ・ファイナンス・プラットフォームを提供しています。スマートフォンさえあれば、いつでもどこでも経済活動が可能な「ウォレットレス社会」への移行をリードしてきました。

2014年には韓国初のモバイル簡易決済サービスをローンチし、以降、オンライン・オフライン決済、送金、メンバーシップ、請求書、認証など、従来の金融活動における不便さを解消する革新的なサービスを展開。2018年11月の投資サービス開始を皮切りに、信用照会、ローン比較、資産管理などの本格的な金融サービスを次々に導入し、誰もが利用できる開かれた金融の実現を進めています。2023年・2024年には「ローン乗り換えサービス」や「保険比較サービス」も提供を開始し、ユーザーの多様なニーズに応える包括的なラインアップを構築しました。

Kakao　Payは「韓国を代表するグローバル決済ブランド」として、海外市場への進出にも積極的です。現在ではアジア、ヨーロッパ、アメリカを含む50か国以上の地域で決済連携を実現しています。子会社のKakao　Pay証券を通じて、日常的に使える投資・資産管理サービス（ファンド、ミニ金庫など）を展開し、さらに韓国初のプラットフォーム型デジタル損害保険会社「Kakao Pay損害保険」を通じて、ユーザー主導で設計する補償プラン、割引、請求通知・即時支払い、無事故返金など、革新的な保険体験も提供しています。

また、Kakao Payは「善なる流れ、柔軟な金融」というESGビジョンのもと、環境・社会・ガバナンスの各分野において、持続可能で共生可能な活動を積極的に推進しています。特に、デジタル情報格差に関係なく、すべての人がデジタル金融の恩恵を享受できるよう、シニア世代や自立準備青年、小規模事業者など、金融弱者層に向けた共生プログラムを多数展開し、地域社会全体に善なる影響を与えるESG経営の好循環モデルを構築しています。

Tether（テザー）および**USDt**紹介

Tether（テザー）は、グローバルな金融環境の革新を目指し、ステーブルコイン技術をリードしてきたパイオニアです。誰もがアクセスできる効率的な金融サービス、通信、AI、エネルギーインフラの提供を使命とし、より大きな金融包摂とコミュニケーションのレジリエンスを実現、経済成長を促進しながら、個人と企業の双方に力を与えることを目指しています。

業界で最も規模が大きく、流動性のあるステーブルコイン「USD₮」を展開するTetherは、社会的に疎外されたコミュニティのために、持続可能で回復力のあるインフラを構築することにも注力しています。また、最先端のブロックチェーン技術とP2P（ピア・ツー・ピア）技術を活用し、従来型の金融システムと分散型金融の可能性のギャップを埋めることに取り組んでいます。

(株)LINE NEXT紹介

LINE　NEXT株式会社（LINE　NEXT　Inc.）は、LINEのWeb3（Web3）プラットフォーム事業の運営を担当する米国法人であり、グローバルなWeb3エコシステムの構築を目指しています。

プレスリリース

KAIAブロックチェーン紹介

KAIA（カイア）は、Web3の価値と技術、プロジェクトを解釈し、革新することによって、全世界のユーザーにより便利なブロックチェーンサービスを提供することを目的とした高性能なパブリックブロックチェーン。KAIAは、2024年に韓国の大手IT企業であるカカオ（Kakao）とLINEが開発したクレイトン（Klaytn）およびフィンシア（Finschia）ブロックチェーンのガバナンスメンバーの統合合意を通じて設立され、これに基づき2億5千万人以上の潜在的ユーザーを持つアジア最大のWeb3エコシステムを構築しました。KAIAブロックチェーンを活用する全てのユーザーは、Web2のメッセンジャーサービスと同等の速さでWeb3サービスを利用でき、相互接続、創造、協力活動を強化し、それを通じて誰もがエコシステムの貢献者になることができます。

お問い合わせ:
Kaia DLT Foundation | PR & Communications Lead
김영재(Kevin Kim)
010-8939-8475 | kevin.kim@kaia.io